

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-3-1		事業名	創成川通アンダーパス連続化事業
担当	建設局土木部創成・駅前整備担当課 西村 211-2641			
全体計画				
事業内容	都心南北交通の主軸である創成川通の北アンダーパス(北3条通～大通)と南アンダーパス(南2条線～南5条線)の2つのアンダーパスを連続化するものである。 <事業年度> 設計 14年度～17年度 アンダーパス工事 16年度～20年度 地上部道路工事 20年度～22年度 <整備延長> 1,100m(北3条通～南5条線、うちトンネル部 約900m) <道路幅員> 56.82m(創成川を含む)		<年度別の事業内容>	
			H19年度 地下躯体工、防災設備工 H20年度 地下躯体工、防災設備工 H21年度 地上部道路工 H22年度 地上部道路工	
事業内容・量・場所	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	アンダーパス本体土木工事 3,858百万円 アンダーパス設備工事 229百万円 その他関連工事や用地補償費等 597百万円		アンダーパス本体土木工事 2,592百万円 アンダーパス設備工事 1,457百万円 その他関連工事や用地補償費等 508百万円	
規模・件数等	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	地上部道路整備関連 284百万円 電線類地中化関連 271百万円 その他関連工事等 66百万円		地上部道路整備関連 660百万円 電線類地中化関連 366百万円	

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-3-1			事業名	創成川通アンダーパス連続化事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
アンダーパス連続化	工事中	工事中	供用開始			供用開始 (20年度)	
創成川通地上道路部分整備	工事中	工事中	工事中	工事中	完成	完成	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 1000人ワークショップの結果を踏まえ、事業を推進している。 市民団体である南1条地区開発事業推進協議会等、地元事業者との打合せを実施</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力]各種マスコミ取材などを通じて、事業の理解を深めるようにしている。 [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 工事期間中において、工事の進捗状況や工事に関わる交通規制の変更などを周知するとともに、現場視察の受け入れ、広報さっぽろでのPRなど、事業の理解を深めてもらうために可能な限り情報提供を行っている。 平成21年2月には、パネル展を開催し情報提供(共有化)を図った。</p>							
評価(成果)			課題				
関係機関と調整しながら計画的に事業を進め、予定通りアンダーパス部分を平成21年3月に供用開始することができた。			地上部道路の復旧工事と親水緑地空間整備との工程管理 国道区間を整備する開発局との工程管理				
今後の事業の予定・方向							
<p>都心南北交通の主軸である創成川通において、周辺道路の交通の円滑化や安全性の向上、都市環境の改善を目的として、南北二つのアンダーパスを結び連続化する工事を平成17年度から進めているが、平成20年度末のトンネル部供用開始以降、予算規模は縮小していくことになる。</p> <p>また、平成20年度からは、親水空間を有した新たな緑地空間の整備やアートワーク事業なども実施しており、これら関連事業と調整を図りながら、平成22年度の全面完成に向けて、地上部道路の整備を進める。</p>							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-3-1			事業名	創成川通アンダーパス連続化事業	
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	4,734,000	5,003,000	396,000	303,000	10,436,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	2,282,000	2,364,000	148,000	101,500	4,895,500	
	市の債	1,208,000	1,323,000	135,000	109,000	2,775,000	
予算	事業費	4,734,000	4,761,000	1,408,000	1,026,000	11,912,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	2,282,000	2,202,000	479,000	294,000	5,257,000	
	市の債	1,208,000	1,248,000	523,000	290,000	3,254,000	
実績	事業費	4,684,000	4,557,291	620,800	-	9,862,091	
	財源内訳						
	国・道支出金	2,282,000	2,253,000	235,500		4,770,500	
	市の債	1,166,000	1,315,000	119,000		2,600,000	
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)				104.3%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
(全体) ほぼ、予定のとおり事業を進めている。							
[19年度]							
[20年度]							
[21年度]電線類地中化工事において、地先地権者との占用物件移設協議が難航し、施工範囲を縮小したため決算額が予算額を大きく下回る結果となった。							
[22年度]計画策定時に予定していた地上部道路整備のほかに、H21年度から電線共同溝整備を一体的に実施することとした。また、道路照明施設等の地上部整備費用が当初予定より増加したため執行見込み額が計画事業費を上回る結果となった。							
予算の計には、19年度から20年度への繰越分(17,000千円)を含まない。							